

令和7年度

運営に関する計画
(年初)



大阪市立瓜破西小学校
令和7年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、『確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体を育成する』を学校教育目標に、目指す子ども像を「主体的に学び、考え、ねばり強く取り組む子」「互いの良さを認め合い自分と友達を大切にする子」「健康や体力の向上に努める子」とし、日々の教育活動に取り組んでいる。

若手教員の多い本校では、授業力・学級経営力、保護者対応力の向上に注力してきた。研究授業を中心に、日々の授業観察後の指導を充実させて授業力の向上を図ることをはじめ、学校力UPコラボレーターによる指導や様々な研修を通して学級経営力をつけるとともに、報告・相談・連絡を密にし組織的な対応をすることによって保護者対応力をつけている。

児童については、大変子どもらしく素直である。明るくて人懐こいという良さを持っており、教師の指導をよく聞き、実行しようとする。また、3年間の総合的な学習や生活科を研究教科として主体的な学びの充実に取り組んだ結果、主体的な学びに向かう態度が向上した。過去3年間は、国語科を研究教科として、教師の授業力を向上させ児童の言語力の育成を図った。昨年度より、算数科を研究教科としてさらに主体的で協働的に取り組む授業を目指し、研究を進めていく。

一方で、一部の児童は基本的な生活習慣が十分定着できておらず、遅刻や忘れ物が多く授業に対する備えができていないことが多い。こうした児童に対して、学力向上の対策として、基礎・基本の定着をめざした朝学習に取り組むとともに、放課後は、サポーターと教諭の監督の下、宿題プラス自主学習に取り組む放課後学習を組織化することで、既習事項の定着を図り、下位層の児童の学力を支えている。

本校の特長として、大阪市には珍しく広い運動場と自然に恵まれた校庭がある。この豊かな自然を本校の宝とし、ヤギ・ウサギ・鳥などの動物の飼育と栽培活動に力を入れている。4年前からは、ESD（持続可能な社会を形成するための人材を育成する教育）を展開し、循環型の飼育栽培活動（ネイチャー活動）に地域とともに取り組んだ。その取り組みは高い評価を受け、様々な機関から表彰された。ネイチャークラブの活動は、児童の自主性や責任感、他の児童に対する思いやりの心を育成し命を尊び畏敬の念を抱かせる活動になっている。また、児童や保護者・地域に高評価を得ている和太鼓クラブは児童の自信と向上心達成感の育成に大いに貢献している。これらの特色ある取り組みは、児童に自己実現と自信を与えるメンタル面を望ましい方向に強化し、学力の下支えとなっている。

また、地域やPTAなど学校を支える環境にも大変恵まれている。多くの地域の人々が、学校の応援団として教育課程内外で様々な活動にかかわってくださっており地域とともにある学校が実現されている。さらに地域と関係を深め、学校を地域のコミュニティの場となるよう発展させていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

1. 学校児童アンケートで「学校生活は楽しい」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で前年度の60%を上回る。
2. 学校児童アンケートで「じぶんからあいさつをしている」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で70%を上回る。
3. 校内アンケートの「点検表どおりのそうじができる」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で68%を上回る。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 児童アンケートの「よく本を読んでいる」で肯定的な回答をする児童の割合を前年度の65%を上回る。
2. 学校児童アンケートの「よく宿題をしている」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で前年度の60%を上回る
3. 学校児童アンケートの「授業中話あう活動ができた」で最も肯定的な回答をする児童の割合を前年度の60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

1. 教育コミュニティづくりを推進し、地域との新たな取り組みを開発する。
2. 年度末の児童アンケートの「学校の中で地域の人とふれあう機会があるか」の項目で肯定的回答が75%を上回る
3. 年度末の教員アンケートで「校内研修が充実していたか」で肯定的回答が75%を上回る。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立 瓜破西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・学校）</p> <p>1. 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</p> <p>2. 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>3. 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>1. 学校児童アンケートで「学校生活は楽しい」で肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合で前年度85%を上回る。</p> <p>2. 学校児童アンケートで「じぶんからあいさつをしている」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で70%を上回る。</p> <p>3. 学校児童アンケートの「点検表どおりのそうじができる」で最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合で68%を上回る。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・不登校に対する予防的・組織的な対応</p> <p>指標</p> <p>いじめをしない・させない取り組み 担当：生活指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめや児童の問題行動を把握したり相談したりする組織をつくり、月1回程度、生活指導全体会を設ける。 いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめ事案に対して詳しい聞き取りを行い、組織的な解決を図る。（3か月以上同様のいじめがないこと） <p>情報モラル教育の推進 担当：研修部A</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部組織と連携し、情報モラルに関する研修会を年間1回以上行う。 <p>不登校についての未然防止と解決を図るための取り組み 担当：生活指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニングシートを学期に1回以上更新する。スクリーニング会議を学期1回設け、家庭に課題のある児童について区の子どもサポートネットと連携して家庭へのアプローチを図る。必要に応じてSCやSSW、関係機関と連携する。 	

取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

互いを大切にし、豊かな心を育むための校内環境の充実と教育活動の推進

指標

校内環境の整備

担当：健康教育部

- 掃除点検表を整備して、作成された点検表をもとに毎週末児童が清掃の点検を行い、清掃への意欲を高める。

人権教育の推進

担当：研修部A

- ESDに基づいた人権教育実践の報告文書を作成し、年度末（2月ごろ）に報告会を行う。

ESDの推進

担当：研修部A

- 教員の資質向上のため、ESDに関する研修会を年間1回程度行う。

動物介在教育の推進

担当：研修部A

- 学校の特色である動植物を活用した取組を、全学年で年間1回程度行う。

取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】

あいさつをはじめ、適切な社会性を身につけるための取組

指標

あいさつに関する取組の推進

担当：生活指導部

- 自分から率先してあいさつすることができるよう、あいさつを推進する取組を学期に1回以上設定したり、全校朝会であいさつの大切さを啓発したりする。

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】

地域を大切にし、郷土愛を育むために、地域資源の活用

指標

地域教育資源の活用

担当：研修部A

- 平野区や大阪市を中心に地域の団体や施設を各学年で年2回以上利用し、地域を大切にする心を育む。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立 瓜破西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	-----------------	----------------	-----------------------	--------------------------

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>1. 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 42%以上にする。</p> <p>2. 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>3. 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>4. 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>5. 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>1. 児童アンケートの「よく本を読んでいる」で肯定的な回答をする児童の割合を 65%を上回る。</p> <p>2. 学校児童アンケートの「授業中話あう活動ができた」で最も肯定的な回答をする児童の割合を 60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>教育の土台である言語力の育成を図り、重点支援校としての取組の推進</p> <p>指標</p> <p>読書活動の推進</p> <p style="text-align: right;">担当：研修部 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野図書館の団体貸し出しを学期に1回程度活用し、学級文庫の充実を図る。 <p>協働的な学びの充実</p> <p style="text-align: right;">担当：研修部 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にしたペア交流やグループ活動等を1単元に1回以上行う。 	

基礎学力の定着**担当：研修部 B**

- ・学習者用端末を活用した朝学習を週1回程度行う。

外国語科・外国語活動の推進**担当：研修部 B**

- ・外国語科・外国語活動の学習において、C-NETと連携し、アクティビティを取り入れた授業を週1回以上展開する。

理科教育の推進**担当：研修部 B**

- ・自校の特色である自然に恵まれた校庭を生かし、観察活動や体験学習を年3回程度行う。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】**運動意欲の向上と、健康的な生活習慣の定着を図る取組****指標****運動意欲の向上****担当：健康教育部**

- ・かけあしタイムやおおなわタイム等、全校的な体力向上の取組を学期に1回程度行う。

健康的な生活習慣の定着**担当：健康教育部**

- ・栄養指導や保健指導を通して、健康を意識できる取組を学期に1回程度行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析**次年度への改善点**

(様式2)

大阪市立 瓜破西小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	-----------------	----------------	-----------------------	--------------------------

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>1. 学校保護者アンケートにおいて「学校はICT機器を活用した教育を推進している」で肯定的な回答の割合を90%以上にする。</p> <p>2. 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を70%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>1. 教育コミュニティづくりを推進し、地域との新たな取組を開発する。</p> <p>2. 年度末の児童アンケートの「学校の中で地域の人とふれあう機会があるか」の項目で肯定的回答が70%を上回る。</p> <p>3. 年度末の教員アンケートで「校内研修が充実していたか」で肯定的回答が75%を上回る。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 授業でのICT機器活用を推進する。</p> <p>指標</p> <p>ICT機器の活用 担当：研修部A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書、デジタルドリル、協働学習支援ツール等を、1日1回以上活用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織作り】 教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。</p> <p>指標</p> <p>働き方改革の推進 担当：管理職</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること、1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること）を満たす教員の割合を70%以上にする。 	

取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】
地域と学校の協働活動を開発して教育コミュニティづくりを推進する。

指標

地域連携の充実

担当：研修部 A

- ・瓜西フェスタ等の地域交流型の行事を、学期に1回以上実施する。

取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織作り】
教員の資質向上を図る取り組みを推進する。

指標

教員の資質向上

担当：研修部 B

- ・若手教員の資質向上を目的としたメンター研修を月1回以上実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点